

カリフォルニアの風（12月増刊号）

「巳年も挑戦を」

辰年の師走を迎えてからも、子供たちが挑戦した結果が、次々に届いてきています。

- ・生徒会主催「能登半島地震で被災された方々を支援するための募金(\$699.70)」を被災地へ
- ・全国学芸サイエンスコンクール「小説部門」入賞
- ・中学3年でハーフマラソンに初挑戦し「部門2位」で完走
- ・日曜日にも「書道」で美しい字を書くことを学ぶ小中学部の子供たち
- ・中学部進学説明会に出向いて「中学部のよさ」をスピーチする中学3年代表
- ・小学生向けに「中高部紹介」ビデオを自主的に作成する生徒会役員
- ・図書委員は小学1年へ、小学1年は幼稚部へ「読み聞かせ」に出向いていく児童たち
- ・現在の思いを表現した詩集「高2の詩人たち」で学び合う高等部の生徒
- ・「大きくなったら〇〇になる！」を礼儀正しくも堂々と時にはにかみながら発表する幼児たち
- ・振り返りタイムで研究した「今後のアクションプラン」を中学生に紹介する高等部の皆さん
- ・現地校「JBBP学芸会」での発表や司会進行役

幼小部サンノゼ校では、一年の締めとなる授業日に恒例となった「校歌合唱」を、今年も、保護者合唱団の皆様とともに行いました。

児童たちは「のびのび」、先生方は「朗々」、保護者合唱団33人の方々に導かれた歌声が、構内から屋外へ、そしてカリフォルニアの風に乗って空高く響いていました。

おかげさまで今年一年を終えることができました。理事会、事務局、先生方、保護者の皆様のご理解とご協力があればこそ、と心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。

挑戦した様々な事の形が整うことを願った「辰年」から「巳年」へ。

巳年は、脱皮をする蛇のイメージから「再生」を意味する吉兆を示したり、「巳」を「実」にかけて「実を結ぶ」時とされています。

この二つの意味から、「これまでは」から「これからへ」と考え方を新たにして取り組んできた今、「これからを」をさらに充実させるように一層努めなければならないと考えています。

そして子供たちには、さらなる成長を目指して努力してきた成果を試す時にしてもらいたいと願っています。今まで胸に秘めてきた夢、着々と準備してきたことに思い切って「挑戦」を。

来年は、挑戦し続ける子供たちにとって、過去の失敗は新たな成長へと「実を結ぶ」という絶好の年になりそうな気がしてなりません。

そのような年になることを心から願い、年末のお礼の言葉に代えさせていただきます。

ありがとうございました。

どうぞ、良いお年をお迎えください。